

TOWN TOPICS

まちの話題

●身近で楽しい話題、明るい話題待っています。

広報こまつしま
電話 32-3812



学校交流で「よさこいソーラン」を披露する勇足小児童

本市と友好都市関係にある北海道本別町の勇足小学校児童14名と学校関係者3名の訪問団が7月23日から25日までの3日間、本市を訪れ、立江小学校児童らと交流を深めました。

初日に市役所を訪れ、稲田市長を表敬訪問し、児童代表の丑若芽依子さん（6年）が、「立江の文化を、交流をとおして勉強していきたい。」と挨拶。その後立江公民館や立江小学校で歓迎式典が催され、同地区の伝統である吹筒花火や阿波踊りを鑑賞しました。

7/23~25

北海道本別町の 勇足小児童が本市を訪問



市消防団第15分団の方と団本部の団長・副団長

第27回徳島県消防操法競技大会が7月18日、吉野川河川敷グラウンドにて開催されました。消防操法とは、火災消火を想定した基本操作の訓練のことで、小型ポンプ操法（4人1組）とポンプ車操法（5人1組）の2種類があります。

当大会に本市を代表して市消防団第15分団（山中恒幸分団長）が小型ポンプの部に出場（出場者：木内勝分団員・高田雄一分団員・金沢和也分団員・細田裕之分団員）日頃の訓練の成果を発揮し、すばらしい操法を披露しました。

7/18

市消防第15分団（櫛渚地区） 県消防操法競技大会に出場

8/1

真夏の海辺で地引網漁を体験 和田島町「渚の夏祭り」

大切な財産であるふるさとと海で子ども達もふれあい、海をきれいにすることの重要性を学んでもらおうと8月1日、渚の夏祭り（ポランティア和田島なぎさ会主催）が和田島町大手海岸で開催されました。

地引網漁の体験では、地元漁師さんが仕掛けた帯状の網の両端についた長いロープを、訪れた家族連れらが一生懸命に手繰り寄せていました。地引網漁は、適度な早さで引くことが重要で、早すぎたり両端の呼吸が合わな

翌24日には、学校交流が行われ、立江小学校児童らとゲームやクイズを楽しみ親睦を深めたようです。午後からの海水浴では、生まれてはじめて海水浴を体験する児童もいて、「一番の楽しみ」だった海を満喫して、帰郷の途につきました。

両校は北海道本別町の開拓者が立江出身者であったことが縁となり、平成3年に立江小学校児童が勇足小学校を初訪問。以後両校が互いに訪問し合い、今年で20回目となります。



地引網漁を楽しむ家族連れ

いと沢山捕ることができないのですが、当日はアジ・ペラなどが捕れ大漁でした。

会場では、獲れたての魚と地元食材を使用したバーベキューや和田島産ちりめんとかわめのすまし汁が訪れた人らに振る舞われ、地元で捕れた新鮮な食材の味覚を堪能していました。

この「渚の夏祭り」は、町おこしの一環として、毎年8月初旬に行われています。